

情報提供「先進事例の取り組み」

中札内村 部活動地域移行中間報告・意見交換会

2023.11.30

部活動の在り方検討支援アドバイザー 熊耳 雅美

目次

事例 1. サッカー、野球における広域の取り組み

事例 2. 市町連携による取り組み

事例 1

【室蘭市】 サッカーの事例

- ・ 今年度新チームより（春先には決定）
- ・ 3 中学校（部員不足）＋クラブチーム
（他には単独でサッカー部が成り立っている中学校もあり）



事例 1

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| ☆練習 | 平日は各学校・クラブ毎
毎週土曜日合同練習
市内2会場で調整 |
| ☆送迎 | 部活生 ⇒ 保護者
クラブ ⇒ 平日クラブバス
休日保護者 |
| ☆指導 | いずれも中学校顧問
及びクラブ指導者 |

☆教育委員会

地域クラブ活動をどのようにしていくか
サッカーをモデルに検討

事例 1

令和8年度には全市のサッカー部をクラブ
活動に？



ビジョンがあまり明確では無い...

【後志管内】 野球の事例

『NPO法人よいスポ』（余市町）
2022年4月チーム発足

事例 1



事例 1

今年度新チームより

中学校	余市東	余市西	余市旭	古平	仁木	美国
野球部	×	×	○	○	○	×
人数	1	5	2	1	4	1



事例 1

平日3日

☆練習 平日 ⇒ 各学校・クラブ毎
 週末 ⇒ 余市町もしくは
 空きのある体育館で練習

☆大会参加・町外練習送迎

部活生 ⇒ 保護者
 クラブ ⇒ クラブバス
 古平町 ⇒ 公用車・顧問送迎

事例 1

指導者 1,300円 / h 週末 3 h

令和6年度クラブチームとして中体連出場予定

☆月謝 クラブ生 ⇒ 2,000円
(※これまでは3,000円)

部活生 ⇒ 2,000円
(※来年度中体連出場の為の経費分割)

※中体連出場経費見込み
30万円（大会参加費・用具費・ユニフォーム代）

事例 1

中学軟式クラブ「ブルータス」全道出場

10月1日初戦、8強目指す (2023.9.23 北海道新聞より)



主将で余市東中2年の高橋宗太郎さん(14)は「軟式野球を続けてきて良かった。大会では8強入りを目指したい」と意気込む。監督の葛西悠一さん(45)は「転校せず野球が楽しめる環境を何とか整えてきた。初勝利まで時間がかかったが、大会出場はうれしい限り」と話す。

事例 1

☆今後に向けて

- ・ 令和8年度以降の予算確保
自主運営するにも2,000円/月が必要
- ・ サッカーも同様に取り組む予定

事例 2

長野県

千曲坂城クラブの取り組み

千曲市・坂城町の位置



千曲市・坂城町の概要



千曲市 人口約58,000人

開湯120年を迎える戸倉上山田温泉、日本遺産に認定された姨捨「田毎の月」、一目十万本といわれる「日本一のアんずの里」等の観光、リンゴ・ブドウ・トルコギキョウ栽培、ハイテク産業・精密加工業・食品産業が盛ん



坂城町 人口約14,000人

中小企業を中心に多数の企業・工場が所在する工業の町、バラと日本刀による観光、リンゴ・ブドウ栽培が盛ん



更埴＝千曲市・坂城町はかつて**更級郡**と**埴科郡**

千曲市・坂城町の中学校概要

千曲市 9小学校・4中学校

戸倉上山田中学校	生徒数514人	部活動加入率85.4%
埴生中学校	生徒数237人	部活動加入率73.8%
更埴西中学校	生徒数272人	部活動加入率60.0%
屋代中学校	生徒数393人	部活動加入率70.2%
県立稲荷山養護学校・県立屋代附属中学校		

坂城町 3小学校・1中学校

坂城中学校	生徒数331人	部活動加入率75.8%
-------	---------	-------------

更埴地区（千曲市・坂城町中学校）

部活動加入率73.0% 年々低下 帰宅部・学校外のクラブ参加の増加

クラブ設立までの経緯

令和2年9月 国から「学校の働き方改革をふまえた部活動改革」

千曲市教育委員会が主となり部活動改革の検討開始

⇒コロナ禍による制約

⇒「地域移行」に対する理解の難しさ

- ・行政
- ・学校
- ・保護者
- ・地域

⇒推進への温度差

更埴地区中学校部活動検討委員会

※千曲市・坂城町が同一歩調で部活動を行うために設置された会

○部活動顧問へのアンケート

○文部科学省地域部活動推進事業研究指定校(長野市裾花中学校)

関係機関・団体等へのヒヤリング及び打ち合わせ

- ・県教委スポーツ課 ・スポーツ安全協会 ・県中学校体育連盟
- ・スポーツ団体 文化芸術団体 ・商工会議所 ・上田税務署 ・三井住友生命
- ・顧問弁護士 ・千曲市地域公共交通活性化協議会 ・郡校長会、教頭会 等

□関係各課との協議・調整

□総合教育会議・教育委員会定例会・議会等への説明

→ **地域移行基本案の作成** 令和2年9月～

千曲坂城クラブについて

⇒子どもたち・保護者・地域の多様なニーズに可能な限り応じたクラブを目指します。

- ・「もっと強くなりたい」「専門的指導を受けたい」「○○をやりたい」「楽しみたい」といった子どもたちのニーズに可能な限り応えるクラブにします。

⇒基本理念:すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術活動を保障する

- ・「こんな経験をさせたい」「様々な活動で成長させたい」保護者のニーズに応えるクラブにします。
- ・「子どもたちに教えたい」「この活動を普及させたい」地域のニーズに応えるクラブにします。
- ・「アーバンスポーツ」「ゆるスポ」「部のなかった文化活動(例:将棋・百人一首等)」も指導者がいて希望する生徒がいれば立ち上げが可能です。

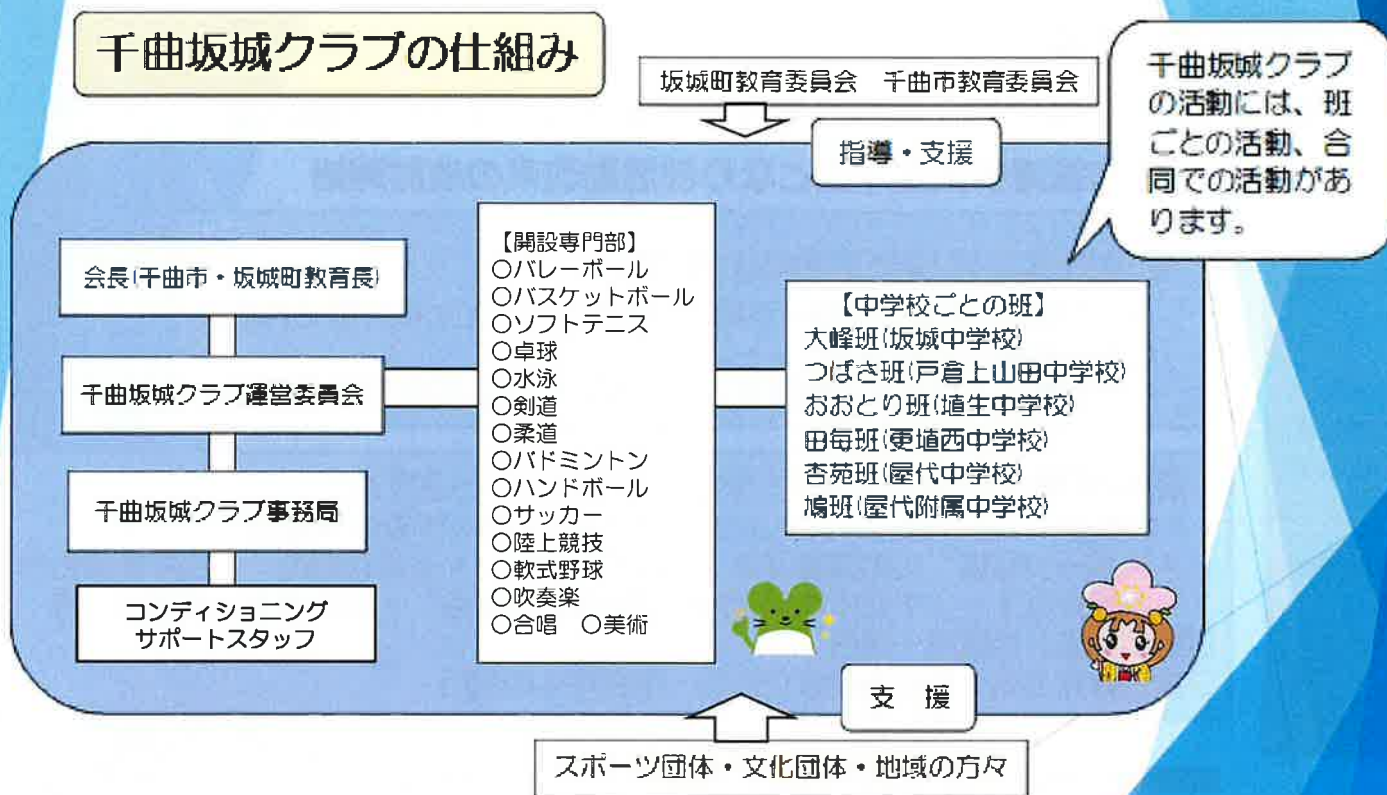
⇒**クラブ指導者として活動したい学校職員は「兼職等承認願い」**を市町村教育委員会へ提出し、承認を得て活動できるようにします。

⇒「長野県中学生期のスポーツ活動指針」「長野県中学校の文化部活動方針」「更埴地区中学校部活動大綱」を踏まえて、**健康に配慮して活動**を進めます。

⇒千曲市・坂城町に住む多くの方に参画いただき、

千曲市・坂城町の新たなスポーツ・文化芸術環境を構築するクラブを目指します。

千曲坂城クラブの仕組み



「段階的に」地域移行をすすめます

今まで学校が担ってきた部活動を、地域移行するには多くの課題があります。したがって、

令和5年度は、地域移行が可能な部から、少なくとも月1回程度地域移行します。

令和7年度までには、すべての部で、休日の部活動の一切を地域移行します。

※休日は、ほぼ地域移行はできる見通し



平日については、**可能な部から移行します。※平日は大きな課題**



指導者は地域の方が担います



- ・指導者は「**スポーツ・文化芸術活動を通して中学生の健全育成に寄与する志がある方**」をお願いします。
- ・教職員でクラブ指導を希望する場合は「**兼職等承認願**」を提出し、承認を得ることで指導者になれます。
- ・指導者は全員「**指導者登録届**」をクラブ会長へ提出します。
- ・指導者には、予算の範囲で謝金を出します。また予算の中から、スポーツ安全保険に加入していただきます。

※クラブの成否を決める課題の一つは「**指導者の確保**」

⇒180名(10月1日現在)

※平日の指導者の確保が課題

地域指導者の謝金〈休日〉

平日についても同額の予定で検討中

- (1)謝金については、**1時間程度900円とし、2時間程度1,800円、3時間以上指導した場合には、2,700円を支払う。**
- (2)30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとし、**1日の謝金の上限は、2,700円**とする。
- (3)謝金は、源泉徴収率10.21%が差し引かれる。
- (4)地域指導者として活動した年の翌年の1月末までに、「報酬の支払調書」を各指導者へ送付する。

旅費

旅費は、支払わない。

旅費については今後の大きな課題 練習試合・大会参加等

その他

- (1)謝金については、国、県、市町からの補助金額等によって変更する場合がある。変更については、千曲坂城クラブ運営委員会に於いて協議し、クラブ総会の承認を得て決定する。
- (2)旅費については、前3項のとおりクラブからは支払わない。但し、県大会以上の大会参加については、千曲坂城クラブ運営委員会に於いて協議し、予算（財源）の範囲内で経費の一部を補助できるものとする。なお、経費の一部を補助した場合は次の総会で報告するものとする。

部活動とクラブの関係

- ・当面の間、平日は部活動として部活動顧問が指導、休日はクラブとして地域の指導者が指導することが基本です。部活動顧問とクラブ指導者は、コミュニケーションを密にして、大きな指導の方向を共有し、それぞれの指導者の持ち味を生かして活動を進めます。

顧問（学校職員）と地域指導者の意識の差

- ・将来的には、平日の部活動もすべてクラブとすることが理想

どのタイミングで完全移行するか？



クラブに参加するには ～やりたい子どもがやれる～

- ・クラブへの参加は、千曲坂城クラブの趣旨に賛同する生徒、保護者が参加することになります。あくまで任意の参加です。クラブへの参加を強要されたり、不参加によって不利益を被ったりすることがないようにします。
- ・クラブ入会には、「入会届(兼誓約書)」の提出が必要です。
⇒917名加入(約67% 10月1日現在)
- ・指導者と参加を希望する生徒が入れば、新しい活動をはじめることも可能です。



費用について ～家庭の経済状況は関係なく～

- ・全員が「**スポーツ安全保険**」に加入します。
※**自己負担**となります。
- ・指導者への謝金をはじめ活動に必要な経費、クラブ運営に必要な経費等の**会費徴収**が必要になります。また、会費のほかに、それぞれの専門部、班の活動で必要な経費がかかる場合もあります。**すべて受益者負担が原則**となります。

※**年会費 3,000円(保険代800円含む)**

- ・中学校の施設、用具等は、可能な限り優先して利用できるようにします。また市、町の施設の利用も可能です。

使用料は100%減免となります。



学校に部活動がなくても、 クラブには入会できる

「バレーボールがやりたいけど自分の通っている中学校には部活動がない」という生徒も、クラブのバレーボール専門部に参加することができます。

クラブには、千曲市・坂城町の生徒であれば、だれでも参加できます。

大会参加については、「部」と「クラブ」の二重登録はできません。詳しくは、後日、顧問から説明があります。



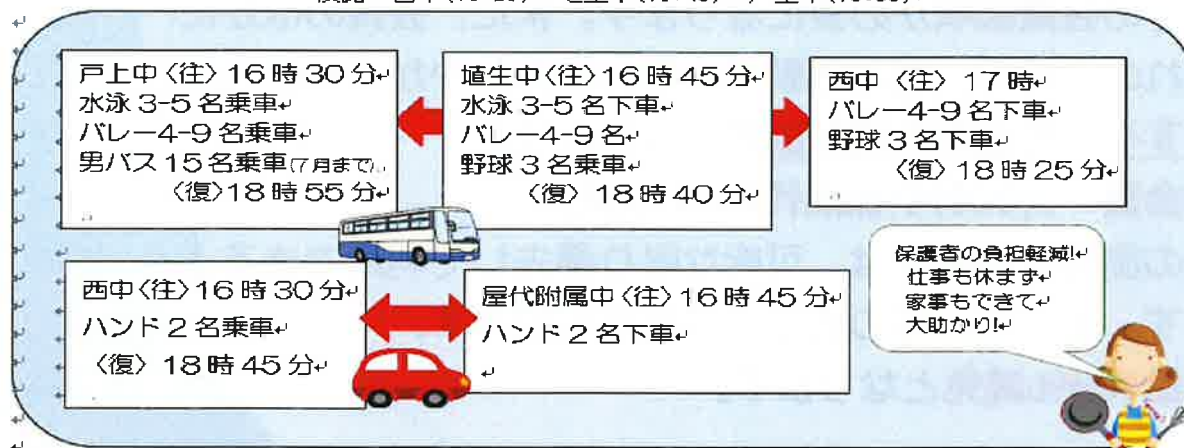
学校間移動の試行 今後多くなってくる！ チームが成り立たない 指導者がいない

移動手段及び学校間移動ルート

ルート1 タクシー 22日 ※7月県大会まで 5/9-7/20
 往路 更埴西中(16:30)～屋代附属中(16:45)
 復路 屋代附属中(18:30)～更埴西中(18:45)
 ルート2 マイクロバス 35日 ※11月まで 4/17-11/17
 往路 戸上中(16:30)～埴生中(16:45)～西中(17:00)
 復路 西中(18:25)～埴生中(18:40)～戸上中(18:55)



マイクロバス・タクシーに乗り込み
練習場所へ



自治体が（協働して）進める上での課題～あくまで私が感じていること～

- どの誰が中心になって進める？
 - ・どの部署が担うのか
 - ・誰を総括コーディネーターにするか
- 行政職員の意識？
 - ・新しいことへの抵抗
 - ・他の部署、他の自治体と連携することへの抵抗
- 何をするにも決済が必要で時間がかかる？
 - ・ひとつのことを実施するにもそれぞれの自治体での説明、決済が必要。
- 理事者のビジョン？
 - ・部活動、スポーツ文化芸術活動への理解
- 予算を確保することの難しさ？
 - ・どう理解を得ていくか。
- その他 「歴史的な大転換」「働き方改革」・・・？



千曲坂城クラブが千曲市・坂城町の新たなコミュニティへ

千曲坂城クラブには、千曲市・坂城町に住む多くの方が参加し、**千曲市・坂城町のコミュニティの活性化**につながっていくことが期待されます。**市民・町民の方から応援されるクラブ**を目指します。

クラブ運営には**多くの課題**が予想されます。千曲市・坂城町の子どもたちに、**スポーツ・文化芸術活動を保障**していくために、**教師の働き方改革を進める**ために、みんなで**知恵**を出し合い創りあげていきましょう。

- ☞ 市町がスポーツ文化芸術活動の振興をどう考えているか。スポーツ文化芸術活動の振興は、「まちづくり」そのものではないか。
- ☞ 総合型地域スポーツクラブと理念は同じ。どのようにリンクしていくか。理想をしっかりと共有し掲げたい。



